

みんなで守ろう地球と郷土

えいれんジャーナル

(公財)福岡県地区衛生連合会報

第146号
令和7年12月1日

発行
公益財団法人
福岡県地区衛生連合会
福岡市東区馬出4-10-1
ナースプラザ福岡内
TEL 092-631-1154
FAX 092-402-1688
発行人 三浦 徳

この会報は再生紙を使用しています。

Email: fukuokaken.chikuren@grace.ocn.ne.jp

特集

「次世代に引き継ごう 持続可能な社会を地域から」

令和7年9月3日(水)、福岡市東区のナースプラザ福岡において、「第67回福岡県地区衛生組織大会」を開催しました。

福岡県地区衛生組織大会は、環境衛生に携わる者がお互いの連携を深め、組織の強化を図るとともに、環境に対する認識を高めることを目的として毎年開催しています。今年度は、初めて会場をナースプラザ福岡に移し、「次世代に引き継ごう 持続可能な社会を地域から」をスローガンに第67回大会を開催しました。約120名の方々にご参加頂きました。

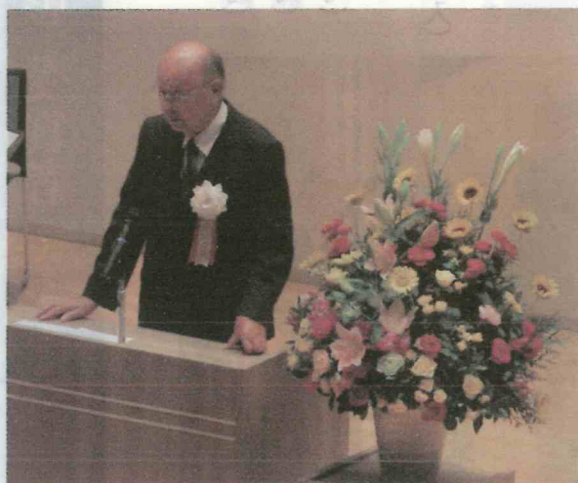
第1部の「大会式典」では、主催者挨拶、来賓祝辞、地区衛生組織活動実践功労者・地区衛生組織活動実践地区に対する理事長表彰を行った後、大会宣言を採択しました。

主催者挨拶の中で三浦理事長は、「現在、私たちは地球温暖化や海洋ごみ問題などの様々な環境問題に直面しており、一人一人が、自主的・主体的に、環境美化、リサイクル等に取り組んでいく必要がある」、また、「人と人、人と地域とのつながりを深め、地域コミュニティの自助能力を高めることにより、持続可能な社会を地域から作りあげ、次世代に引き継いでいく必要がある」と述べました。

さらに、三浦理事長は、「そのために、個人はもとより地域の取組みをはじめとして、行政機関や関係団体と連携を保ちながら、住民参加型の生活環境を守る運動に取り組む、『健康で快適な生活環境づくり』のため、なお一層の努力をしていく」と述べました。

第1部の「大会式典」では、主催者挨拶、来賓祝辞、地区衛生組織活動実践功労者・地区衛生組織活動実践地区に対する理事長表彰を行った後、大会宣言を採択しました。

主催者挨拶の中で三浦理事長は、「現在、私たちは地球温暖化や海洋ごみ問題などの様々な環境問題に直面しており、一人一人が、自主的・主体的に、環境美化、リサイクル等に取り組んでいく必要がある」、また、「人と人、人と地域とのつながりを深め、地域コミュニティの自助能力を高めることにより、持続可能な社会を地域から作りあげ、次世代に引き継いでいく必要がある」と述べました。



(公財) 福岡県地区衛生連合会理事長表彰 受賞者 (氏名敬称略)

(1) 地区衛生組織活動実践功労者 1類(23名)

○久留米市地区環境衛生連合会

寺崎 英雄 (久留米市中央町)
小林 隆利 (久留米市中央町)
柳 久男 (久留米市西町)

弓 敏昭 (久留米市北野町)

栗原 正 (久留米市国分町)

執行 茂 (久留米市長門石)

野田 博樹 (久留米市三潞町)

重松 弓代 (久留米市南)

古賀 豊 (久留米市小森野)

○朝倉市衛生連合会

秋吉 京子 (朝倉市杷木寒水)

矢野 憲一 (朝倉市牛木)

矢野 四郎 (朝倉市牛木)

○大川市環境衛生組合連合会

岡 徳司 (大川市大字榎津)

○大木町環境衛生協議会

井手 正宏 (三潞郡大木町)

○筑後市環境衛生協議会

中村 一久 (筑後市大字蔵数)

鈴木 哲夫 (筑後市大字蔵数)

田熊 雄身 (筑後市大字久富)

秋山 元之 (筑後市大字野町)

鶴野 晃弘 (筑後市大字野町)

鶴野 隆義 (筑後市大字野町)

○直方市環境衛生連合会

中井 征司 (直方市大字上新入)

○鞍手町衛生連合会

柴田 道夫 (鞍手郡鞍手町)

久保 智則 (鞍手郡鞍手町)



(2) 地区衛生組織活動実践地区 (9地区)

久留米市大善寺校区 大善寺自治会

久留米市金丸校区 梅満東部環境衛生組合

久留米市南薫校区 東櫛原中部2区自治会

久留米市青木校区 青木団地愛護会

安川コミュニティ協議会 (朝倉市)

千手区小石原川を美しくする会 (朝倉市)

株式会社ヤマセン (朝倉市)

相窪環境保全組合 (朝倉市)

大牟田市みなと校区早米末町1丁目公民館



第67回 福岡県地区 衛生組織大会 特別講演

演題：ごみを分別・資源にして得をする社会へ

講師：一般社団法人 循環のまちづくり研究所

代表理事 中村 修氏

第2部の「特別講演」では、循環のまちづくり研究所代表理事の中村修氏から、「ごみを分別・資源にして得をする社会へ」と題してご講演いただきました。

講演では、ごみ焼却施設が複合施設化することにより、「迷惑施設」から「まちづくり拠点」「市民が歓迎する施設」になるとのお話がありました。そのためには、「市民と議論すること」が大事で、その結果として、エネルギー拠点という新たな役割が創出され、施設が「負債」から「稼ぐ施設」になるとの説明と、また、議論の場を作る必要があるとの説明がありました。さらに、伝え続ける仕組みとして、地元のごみ事情や分別、思いを伝える小学校での教育が大事というお話がありました。

ごみ焼却施設の建設・運営から小学校での教育についてまで具体的な話があり、今後の活動に向けて有意義な講演となりました。

大会宣言

私たちは、永年にわたり、地域における様々な実践活動を通して、健康で快適な生活環境づくりに努めてまいりました。

しかしながら、大量生産・大量消費・大量廃棄型の産業構造や生活様式が環境へ大きな負荷をかけ、地球温暖化、廃棄物の不適正処理、国の枠組みを超えた大気汚染など多岐多様な問題が発生しています。

また一方で、急速な少子高齢化に伴い、地域社会における人間関係が希薄化するなど、私たちの活動を取り巻く環境は、より厳しさを増しています。

このような状況にあっても、豊かな自然、美しい町、そして持続可能な社会を次世代に引き継ぐことは、私たちの重要な責務です。

そのためには、個人はもとより、地域全体で取り組むとともに、行政機関や関係機関とも連携・協力しながら、行動していかねばなりません。

本日の第67回福岡県地区衛生組織大会を機に、「次世代に引き継ぐ 持続可能な社会を地域から」をスローガンとして、一層の情熱と熱意をもって、今後とも自主的・組織的な実践活動を推進することをここに宣言します。

令和7年9月3日

第67回福岡県地区衛生組織大会

特 集

2025年 ふるさとの川や海 絵画コンクール入選作品

福岡県地区衛生連合会では、子ども達の環境問題への関心を深め、意識の高揚を図るため、福岡県、福岡県教育委員会の後援を受け、小学生を対象に、ふるさとの「川や海」絵画コンクールを実施しています。令和7年度は、5,392点の応募がありました。入選作品100点については、表彰状と記念品を授与しました。

ふるさと海の部

福岡県知事賞（上学年）

直方市立 直方北小学校（6年）
佐藤 柚葉



福岡県知事賞（下学年）



久留米市立 南薫小学校（2年）
園田 かおり

ふるさと川の部

福岡県知事賞（上学年）



久留米市立 金丸小学校（6年）
坂井 優花

福岡県知事賞（下学年）



遠賀町立 広渡小学校（1年）
辻本 日々喜

ふるさと川の部

福岡県教育委員会賞（下学年）

うきは市立 御幸小学校（3年）
赤司 紬



久留米市立 東国分小学校（1年）
村井 神心



福岡県教育委員会賞（上学年）

久留米市立 西国分小学校（5年）
前畑 佑都



大牟田市立 三池小学校（4年）
近浦 史乃



ふるさと海の部

福岡県教育委員会賞（下学年）

遠賀町立 広渡小学校（2年）
福島 鳳梨



大牟田市立 上内小学校（2年）
野田 ゆりか



福岡県教育委員会賞（上学年）

久留米市立 大橋小学校（6年）
古川 太勇



遠賀町立 島門小学校（5年）
鶴田 隼士



ふるさと川の部

福岡県地区衛生連合会理事長賞(下学年)

柳川市立
矢ヶ部小学校(3年)
久保 結愛花



大牟田市立
三池小学校(3年)
柴田 結彩



久留米市立
東園分小学校(2年)
桐明 杏朱



大牟田市立
上内小学校(3年)
松尾 歩佳



大牟田市立
木佐木小学校(1年)
川村 紗彩



久留米市立
上津小学校(2年)
藤井 應誠



大川市立
大野島小学校(1年)
山崎 優花



柳川市立
二ツ河小学校(1年)
杉浦 葉凜



福岡県地区衛生連合会理事長賞(上学年)

朝倉市立
朝倉東小学校(5年)
松重 謙吾



大牟田市立
大溝小学校(6年)
中垣 百々花



鞍子町立
剣南小学校(5年)
高山 和花



うきは市立
山春小学校(5年)
伊藤 悠翔



直方市立
上磯野小学校(4年)
峰 梓



柳川市立
やまと小学校(4年)
内藤 乙葉



遠賀町立
鳥門小学校(4年)
末富 あや



大川市立
川口小学校(4年)
兼富 ひまり



ふるさと海の部

福岡県地区衛生連合会理事長賞(下学年)

遠賀町立
鳥門小学校(3年)
山下 莉子



みやま市立
高田小学校(3年)
儀屋 葉奈



大川市立
田口小学校(3年)
小宮 紀愛



宮若市立
宮田南小学校(3年)
江島 ゆめ



柳川市立
やまと小学校(3年)
古賀 夏鈴



大牟田市立
天領小学校(3年)
平川 岳



みやま市立
桜舞館小学校(1年)
松永 誠太郎



大川市立
三又小学校(1年)
梶原 翠



福岡県地区衛生連合会理事長賞(上学年)

柳川市立
藤吉小学校(6年)
今村 葉優



大牟田市立
大正小学校(6年)
古賀 美星



久留米市立
合川小学校(5年)
つる田 はる斗



宮若市立
光陵小学校(5年)
原田 莉桜



みやま市立
桜舞館小学校(4年)
片山 ほのか



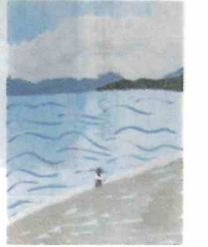
久留米市立
金島小学校(5年)
高木 修司



筑前町立
三輪小学校(4年)
三浦 佑海



大牟田市立
大溝小学校(4年)
田中 陽明



海の部 入賞



宮若市立 光陵小学校(1年)
塩川 明輝



大刀洗町立 菊池小学校(1年)
後藤 幸歩



筑前町立 三輪小学校(1年)
片淵 木春



うきは市立 江南小学校(1年)
今村 祐福



柳川市立 両開小学校(1年)
石塚 絵華



筑後市立 筑後小学校(2年)
新開 鈴



朝倉市立 甘木小学校(2年)
松田 直央



大刀洗町立 菊池小学校(1年)
柿原 陽太



鞍手町立 剣南小学校(3年)
右山 愛依里



久留米市立 東国分小学校(2年)
井手口 穂高



久留米市立 南小学校(1年)
光永 こころ



久留米市立 南郷小学校(3年)
羽野 あおと



鞍手町立 剣南小学校(3年)
小林 岳登



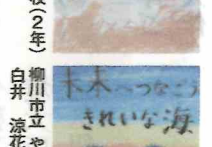
大木町立 大満小学校(2年)
森山 慶人



大刀洗町立 菊池小学校(4年)
岩崎 雄希



嘉麻市立 嘉穂小学校(4年)
北原 杏珠



柳川市立 やまもと小学校(4年)
白井 涼花



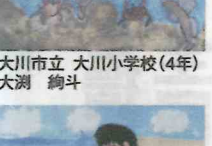
大川市立 大川小学校(4年)
大淵 純斗



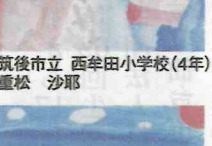
筑後市立 西牟田小学校(4年)
重松 沙耶



久留米市立 山本小学校(5年)
長野 温志



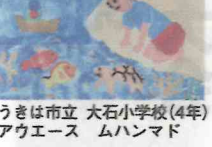
うきは市立 大石小学校(4年)
アウエース ムハンマド



うきは市立 千年小学校(4年)
横木 美琴



鞍手町立 剣南小学校(5年)
川原 花音



朝倉市立 立石小学校(6年)
渡邊 想真



直方市立 感田小学校(5年)
樋口 葉瑠



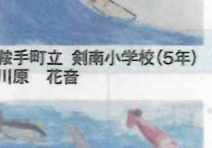
宮若市立 宮田南小学校(6年)
近藤 陽



大木町立 木佐木小学校(6年)
山田 弥澄



大刀洗町立 本郷小学校(6年)
梶原 楓叶



宮若市立 宮田北小学校(6年)
関岡 悠有



大川市立 道海島小学校(6年)
松脇 くるみ



みやま市立 高田小学校(6年)
永野 創士



川の部 入賞



嘉麻市立 福築西義務教育学校(1年)
大塚 心陽



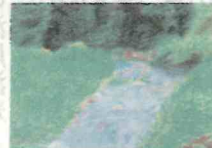
遠賀町立 広渡小学校(1年)
永沼 美都



朝倉市立 立石小学校(1年)
坂田 真志朗



大川市立 木室小学校(1年)
堤 達慎



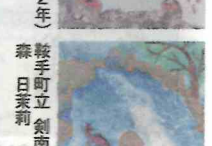
みやま市立 高田小学校(1年)
西山 隼矢



朝倉市立 福田小学校(2年)
平井 結乃



みやま市立 瀬高小学校(2年)
宮本 幸長



鞍手町立 剣南小学校(2年)
森 日茉莉



小竹町立 小竹みらい小学校(3年)
成島 凛



うきは市立 福富小学校(2年)
吉野 恵美香



大木町立 大満小学校(4年)
飯塚 水彩



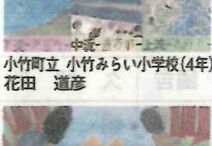
久留米市立 大善寺小学校(5年)
堤 昇斗



小竹町立 小竹みらい小学校(4年)
花田 道彦



久留米市立 徳山小学校(6年)
渡邊 未友心



嘉麻市立 福築西義務教育学校(5年)
藤岡 元太



直方市立 直方北小学校(6年)
白石 獅和



大刀洗町立 本郷小学校(5年)
中島 結菜



みやま市立 高田小学校(6年)
永野 創士



大川市立 道海島小学校(6年)
松脇 くるみ



みやま市立 高田小学校(6年)
永野 創士



みやま市立 高田小学校(6年)
永野 創士



みやま市立 高田小学校(6年)
永野 創士

福岡県環境部から

福岡県における海岸漂着ごみ対策

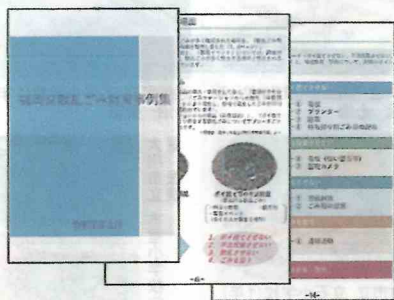
海洋プラスチックごみの約8割は、陸域で発生したごみが河川等を通じて海に流れ出していると言われています。

そのため、県では、福岡県内の河川におけるごみの量や組織を把握する調査、河川敷・河川周辺の陸域におけるごみの分布、量や組成、及び河川水中に存在するマイクロプラスチックの量や組成を把握するため「河川ごみ実態把握調査」を行いました。また、この調査結果を基に、散乱ごみの発生しやすい場所を特定し、「ポイ捨てさせない」、「不法投棄させない」、「散乱させない」、「ごみを拾う」という4つのアプローチから散乱ごみ対策の個別具体的な事例などを掲載した「福岡県散乱ごみ対策事例集」を作成しました。

また、海岸漂着物発生抑制の普及啓発事業として「海岸漂着ごみ・クリーンアップ大作戦」事業を実施しています。

令和7年度は、県内のポイ捨てごみを少しでも減らし、増え続ける海洋ごみを減らすため、県内一斉清掃キャンペーン「1万人のクリーンアップ大作戦」(期間：令和7年9月28日～10月31日)を実施するとともに、「1万人のクリーンアップ大作戦」の県主催イベントとして、楽しみながらごみ拾いが行える「福岡県みんなでスポGOMI in 新宮海岸」を10月5日(日)に開催しました。

イベント当日は、中学生から御高齢の方まで幅広く、47組155名の方に御参加いただき、約62kgの海岸漂着ごみを回収しました。



←こちらのQRコードから、
「福岡県散乱ごみ対策事例集」
データ掲載ホームページにア
クセスできます。



スポGOMIの様子



集合写真

令和7年度 理事等名簿

(令和7年10月3日現在)

役職名	氏 名	地区組織名
理 事 長	三浦 徳	筑 後
副 理 事 長	魚住 隼人	直 方
〃	中川 辰藏	柳 川
常 任 理 事	高崎 一男	遠 賀
〃	西林 國吉	久 留 米
理 事	熊部 実孝	朝 倉
〃	山本 浩	大 刀 洗
〃	関 健児	う き は
〃	東 勝典	大 川
〃	柿川 和機	大 牟 田
〃	福原 秀一	宮 若
〃	中村 市治	嘉 麻
〃	佐々木恵治	大 任
〃	太田 英樹	福 岡 県
常 務 理 事	山本隆二郎	事 務 局
監 事	原田 賢二	
〃	谷本 拓也	

【団体】

久留米市西国分校区

南久留米駅前環境衛生組合

(久留米市地区環境衛生連合会)



令和7年10月16日から17日までの二日間に開催された、第69回生活と環境全国大会(主催…一般財団法人日本環境衛生センター、於…宮城県仙台市)において、令和7年度生活環境改善模範地区表彰(環境大臣表彰)が行われ、本連合会会員の地区組織から次の団体が受賞されました。

第69回

生活と環境

全国大会

お知らせ

令和7年度賛助会員 (指定業者)

ヨシタケTS 株式会社 〒811-1314 福岡市南区の場2-22-20 Tel 092-582-2451	株式会社アラキ 〒830-0063 久留米市荒木町荒木1964-15 Tel 0942-27-2659	ネクスタ株式会社 九州営業所 〒811-2503 糟屋郡久山町猪野884-1 Tel 092-976-2211
---	---	---